



できるかな、まっ黒くろすけ



火山爆発実験

「まっ黒くろすけ」コーナー大人気！
 ～まるごと体験・秋田のジオパーク～

去る1月25日、秋田県主催の標記イベントが秋田駅に隣接するアルヴェにある「きらめき広場」で開催されました。ご存知の通り秋田県内には八峰白神ジオパーク、男鹿半島・大潟ジオパーク、ゆざわジオパークの3地域があります。これら3地域は先ごろ秋田県ジオパーク連絡協議会を設立しましたが、この度のイベントは最初の事業となりました。

八峰白神ジオパークの紹介には秋田大学のご協力も得て、「火山噴火実験」「まっ黒くろすけ」ジオポイント絵画「大地の恵み・特産品販売」などの各コーナーを設け来客者に対応しました。

コカコーラの大瓶をつかった火山噴火の実演が始まると火山模型の周りには人垣ができました。2mも噴き出す溶岩（コカコーラ）に歓声が場内に響きわたりました。

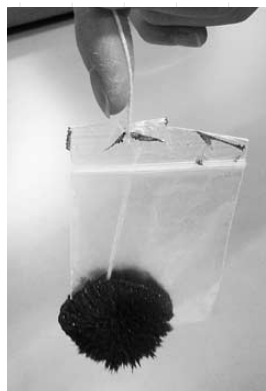
「できるかな、まっ黒くろすけ」のコーナーも人気がありました。この立案にあたってヒントになったのは中浜海岸に広がるカラミ（鉱滓）でした。初めて訪れる人たちはこの黒い砂を見ると決まって「こんなに砂鉄がある！」と言います。そこでガイドは磁石を取り出してお客さんに渡し、砂の表面を撫でてもらいます。「アレっ？付かない！」の声を聞くとガイドは準備してあった砂鉄を出し、再度同じ作業をしてもらいます。今度は磁石に砂鉄がいつぱい付きます。その様子がアニメ「となりのトトロ」にでてくる「まっ黒くろすけ」によく似ているのです。「まるごと体験」の企画を相談していたとき、前述の体験談が話題になりました。そのようにしてこのコーナーが誕生したのです。

このコーナーは子どもたちで大賑わいとなりました。ふと見ると男の子2人を連れたいいさんがやっ

てきます。担当者の説明にしたがつてまずカラミでできている砂に向かいます。磁石のほうにカラミが付かないので弟はすぐに砂鉄の入った砂に行き試しています。ところが、兄はカラミを磁石に付けようとまだがんばっています。最初は砂の表面を撫でていました。が、さっぱり付かないので今度は砂の中に磁石を埋めて様子を見ています。次に磁石の上に砂を山盛りにし、手で上からぎゅうぎゅう押ししています。

少し離れた場所に立つて見ていたおじいさんに私は近づき話しかけました。「あのお子さんは科学者になりそうですね」おじいさんはびっくりした表情で「アハハハ……ハハ……ハ……？」と笑いました。しかし、笑いが止まった頃は真剣なまなざしでお孫さんを見つめていました。

私はこの場に立ち会い、ジオパークの思いもよらなかった働きを垣間見た気持ちになりました。もしかしら親から子へ、子から孫へ何ものかを伝える手助けをジオパークは担っているのではないかと深く考えさせられたのです。



八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤 英美

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内

TEL 0185-78-2427